

TELECHART-W Ver.4

インターネット対応部分

ユーザーズマニュアル

3冊のマニュアルの内、このマニュアルを最初にお読みください。
インターネット対応部分以外はTELECHART-W Ver.3.5 ユーザーズマニュアルをご参照願います。

SYSTEMEC

[ご注意]

本ソフトウェアは日本国外では使用できません。

This software is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

本ソフトウェアの著作権は株式会社システックにあります。

本ソフトウェアの複製はユーザー様が製品を使用するために 1 台のパソコンへセットアップする場合に限ります。それ以外の複製をすべて禁じます。

本ソフトウェアの仕様およびマニュアルの記載内容は改良のため予告なく変更する場合があります。

製品のご使用にあたり、疑問点などがありましたらユーザーサポート宛て FAX か E メールでお問い合わせください。(電話によるサポートは実施していません)

FAX 番号 052-601-5789

E メールアドレス support@systec-inc.co.jp

最新バージョン確認ページ <http://www.systec-inc.co.jp/support/tcw4/tcw4.htm>

ホームページ <http://www.systec-inc.co.jp/>

も く じ

1 . はじめに	3
2 . 概要	4
3 . ソフトのダウンロード	6
4 . ソフトのインストール	1 1
5 . 起動と終了	1 7
6 . 付属ソフトのセットアップ	2 1
7 . 過去のデータの作成(銘柄別データメーカー利用の場合)	2 2
8 . 過去のデータの作成(旧 TELECHART-W のデータ利用の場合)	2 5
9 . Yahoo! ファイナンス VIP 倶楽部について(非サポート)	2 8
1 0 . 株価ボードの見方	3 0
1 1 . 株価データ取り込み	3 2
1 2 . 補充用日々データの作成と読込(日々データメーカー利用)	3 4
1 3 . 信用残データの取り込み(日々データメーカー利用)	3 6
1 4 . 使用期限について	3 8
1 5 . ソフトの削除	4 0
1 6 . 最新版のダウンロード	4 4

1 . はじめに

本ソフトは年間使用料をお支払いいただくことにより 1 年間お使いいただける、使用期限付きのソフトです。

本ソフトのご利用に当たりユーザー様には下記の事をお守りいただけますようよろしくお願いいたします。

ソフトをダウンロードする時にユーザー名とパスワードを入力していただきますが、パスワードはユーザー様だけにお知らせするものです。他の人に知らせないよう厳重に管理願います。

また、使用を開始する時にキーコードを入力していただきます。

さらに、1 年間の使用期間が過ぎて次の 1 年間を使用する時に別のキーコードを入力していただきます。

これらのキーコードはユーザー様だけにお知らせするものです。他の人に知らせないよう厳重に管理願います。

パスワードやキーコードを他の人に知らせる行為、およびそれを知った人がソフトを無料で使用する行為は不正な行為に当たります。弊社がそのことを知った場合は損害賠償の請求等、法的な手続きをさせていただくことがありますのでご注意願います。

2 . 概要

テレチャート・W Ver.4 は従来版のテレチャート・W Ver. 3.5 の株価データを取得する部分を文字放送からインターネットに変更したものであり、基本的な機能はテレチャート・W Ver. 3.5 と同じです。

本書はインターネット対応部分に関する説明を記述しています。

インターネット対応部分以外に関してはテレチャート・W Ver. 3.5 ユーザーズマニュアルをご参照願います。

テレチャート・W Ver.4 のソフトウェアには「日々データメーカー」と「銘柄別データメーカー」のソフトウェアが付属しています。

テレチャート・W Ver.4 は株価データをYahoo!ファイナンスから取得します。

文字放送版におけるデータの遅延時間は1分～14分の範囲で変動がありました。

遅延時間の変動の理由は更新間隔が8分から14分と長かったためです。つまり放送時点の株価は1分遅れでしたがその株価が次に更新されるのが8分から14分後になるからです。更新直前には8分前から14分前の古いデータが表示されていたこととなります。

Yahoo!ファイナンスにおける遅延時間は通常の場合20分で一定しています。

No	ユーザー区分	費用	遅延時間	更新間隔
1	一般ユーザー	無料	約20分	1分

Yahoo!ファイナンス Web ページ上の株価データをテレチャート・Wの株価ボード上に表示するにはデータの読み取り処理が必要です。データの読み取り処理に要する時間は30秒～120秒です。この読み取り処理に要する時間は銘柄数、通信速度、パソコンの性能によって変動します。読み取り処理に要する時間が1分未満であれば1分毎に更新されるすべてのデータを読み取ることができます。読み取り処理に要する時間が1分以上の場合は1分毎に更新されるデータのすべてを読み取ることはできません。

[従来ソフトと比べて機能が制限される部分について]

従来の文字放送版と比べて機能が制限される部分は下記の通りですのでご注意願います。

信用残データの取込みは日々データメーカーを使用して取込みます。自動ではできません。

銘柄辞書ファイルに記載されている銘柄のみの株価データを収集します。新規上場銘柄の取込みエラーの表示はされません。新規上場銘柄の銘柄メンテナンス（情報追加）が必要な点は文字放送版と同じですが追加する銘柄名をユーザー様ご自身で入力する必要がある点が異なります。

文字放送版にあった「日々データ修正」、「週残データ修正」機能は廃止しました。理由は新規上場銘柄の情報を収集していないからです。

為替表示は気配値と取引値を表示します。文字放送版で表示していた「ドル高値」「ドル安値」は表示されません。

ソフト起動後、30 秒から 2 分で全銘柄の株価データが収集されます。文字放送版にあった「保存データの起動時読込」の機能は削除しました。なお全銘柄の株価データの収集時間は通信速度やパソコンの性能で変動します。

3 . ソフトのダウンロード

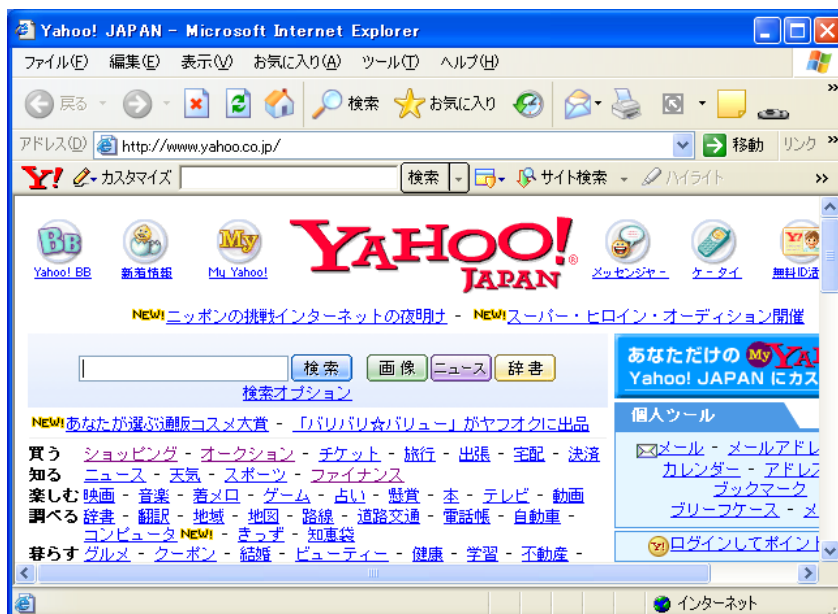
ご注意

説明で使っている画面は WindowsXP の場合の画面を示しています。WindowsXP 以外の OS をお使いの場合は画面が若干異なる場合があります。ご了承願います。

テレチャート・W Ver.4 のセットアップファイルは弊社の専用 Web ページ上からダウンロードしていただきます。次の手順でダウンロードしてください。

インターネットエクスプローラを起動してください。下図はインターネットの画面を開いた例です。Yahoo!JAPAN のページですが開くページは Yahoo!JAPAN でなくても構いません。

図 3-1



メニューバーの「ファイル(F)」の「開く(O)」をクリックしてください。

図 3-1-1

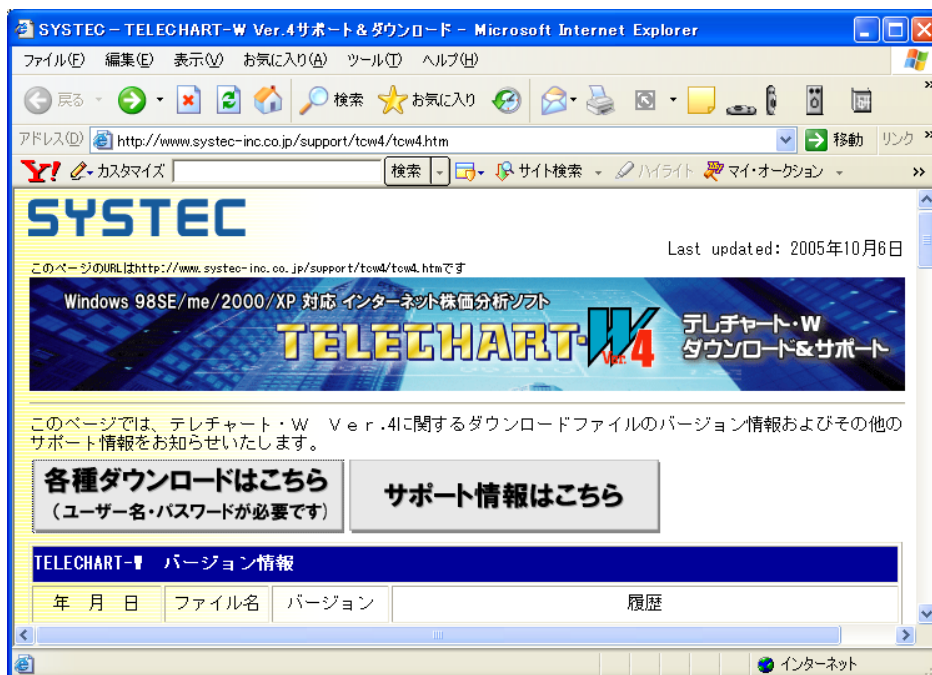


枠の中に下記のアドレスを半角文字で入力後「OK」をクリックしてください。

http://www.systec-inc.co.jp/support/tcw4/tcw4.htm

下記のような画面が表示されます。

図 3-2



「各種ダウンロードはこちら」をクリックしてください。

下記のような画面が表示されます。

図 3-3



ユーザー名とパスワードの欄に、別紙にてお知らせしているユーザー名、パスワードをそれぞれ入力してください。「パスワードを記憶する(R)」にチェックを入れておいてください。そうすると次回以降、パスワードの入力を省略することができます。「OK」をクリ

ックしてください。下記の画面が表示されます。

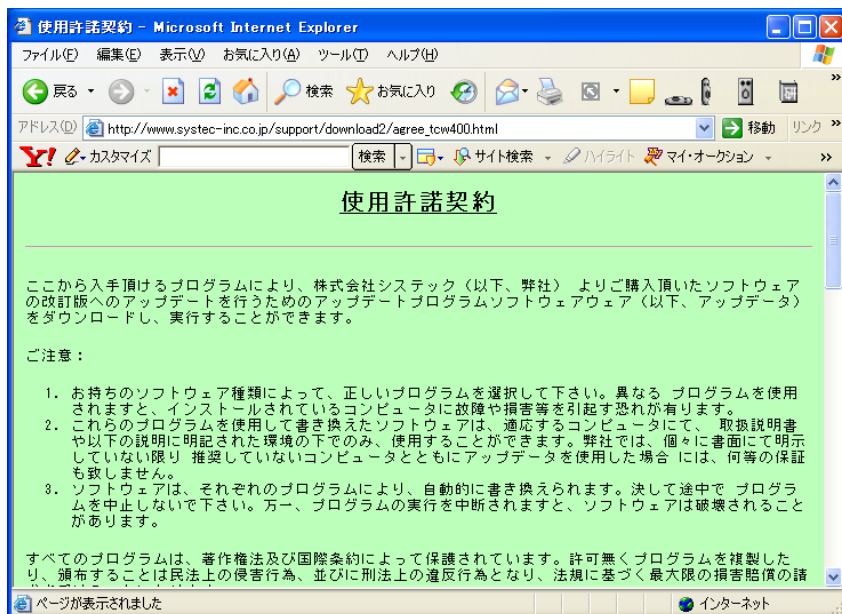
図 3-4



TELECHART-W Ver.4(ソフト本体)、ファイル名：Tcw40X.exe の「ダウンロード」ボタンをクリックしてください。
(ファイル名：Tcw40X.exeの40Xの部分はバージョンによって変わります。)

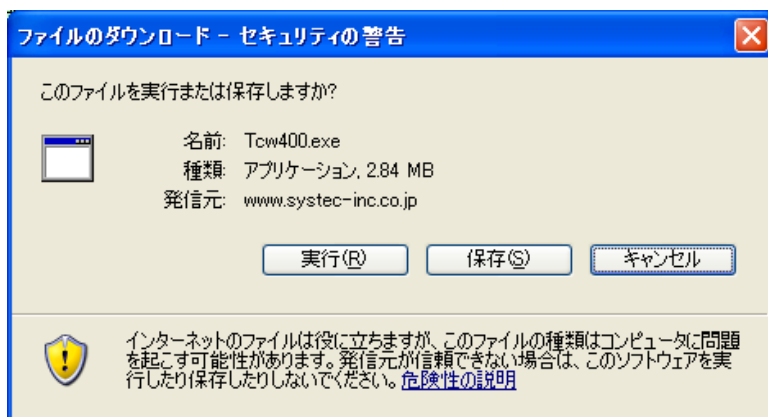
下記の画面が表示されます。

図 3-5



表示された内容をお読みいただき、ご同意いただける場合は「同意する」ボタンをクリックしてください。下記の画面が表示されます。

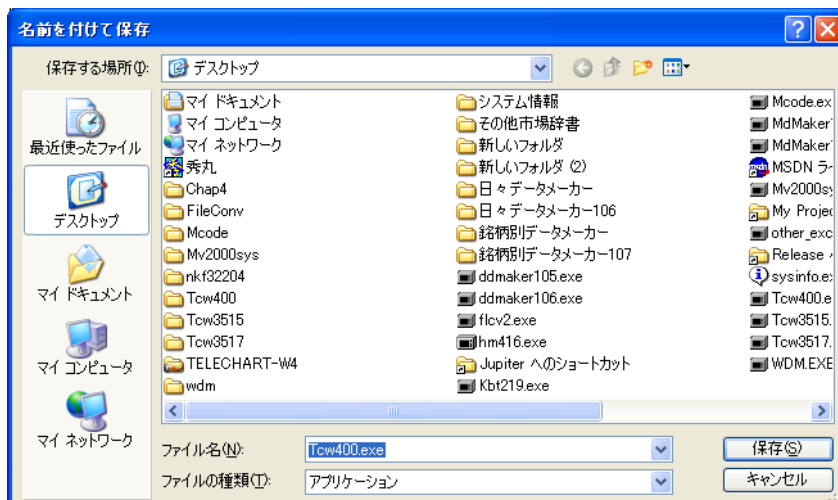
図 3-6



「保存」をクリックしてください。

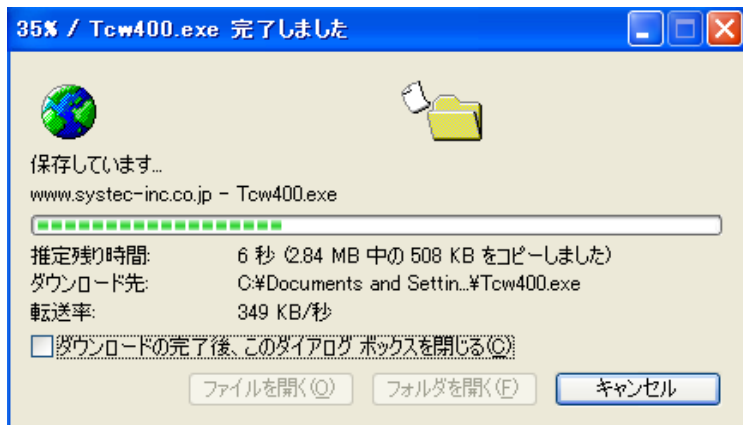
下記の「名前を付けて保存」の画面が表示されます。

図 3-7



「保存する場所」の欄に「デスクトップ」と表示されていることを確認してください。「デスクトップ」と表示されていない場合は「保存する場所」の右の枠の右端にあるプルダウンボタンをクリックし「デスクトップ」を選択してください。次に「保存」をクリックしてください。下記の画面が表示されます。

図 3-8



ダウンロードが完了したら「閉じる」をクリックしてください。(この画面は設定により自動的に閉じる場合もあります。)

「使用許諾」画面を閉じてください。

以上で「TELECHART-W Ver.4」のソフトがデスクトップ上にダウンロードできました。続いて次の「4. ソフトのインストール」へ進んでください。

4 . ソフトのインストール

ご注意

画面は WindowsXP の場合の画面を示しています。WindowsXP 以外の OS をお使いの場合は画面が若干異なる場合があります。ご了承願います。

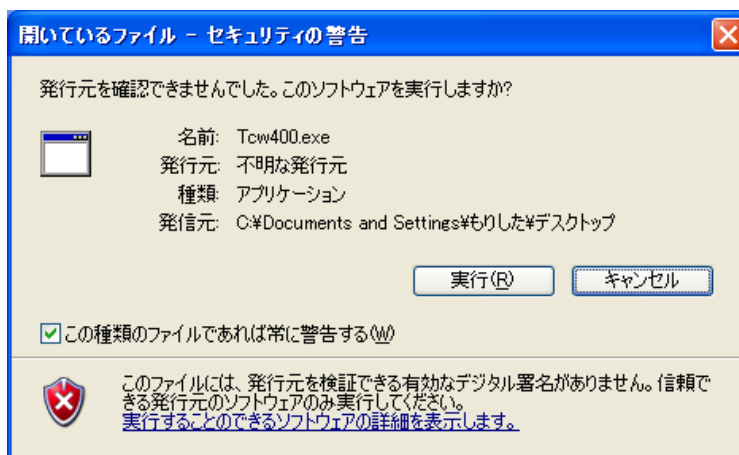
テレチャート・W Ver.4 は旧テレチャート・W とは別にインストールされます。
(上書きインストールではありません。)

次の手順でインストールを実施してください。

デスクトップ上に作成された「Tcw40X.exe」(40X の部分はバージョンによって変わります)をダブルクリックしてください。下記の画面が表示されます。

下記の画面が表示されない場合は飛ばしてください。

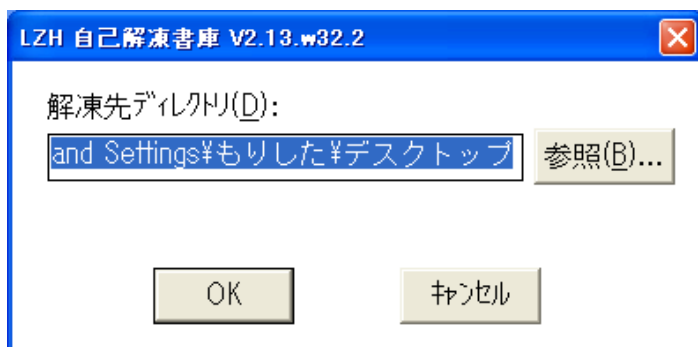
図 4-1



「実行」をクリックしてください。

下記の画面が表示されます。

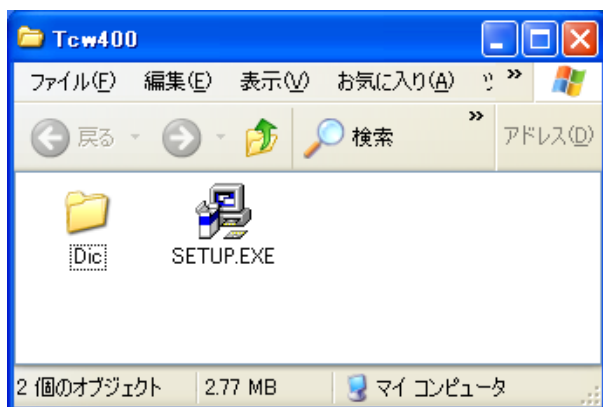
図 4-2



「解凍先ディレクトリ」の欄の右端に「デスクトップ」と表示されていることを確認してください。「デスクトップ」と表示されていない場合は「参照」ボタンをクリックし「デスクトップ」を選択してください。次に「OK」をクリックしてください。解凍が終了すると上記の画面は消えます。デスクトップ上に「Tcw40X」というフォルダが作成されているはずですが。(40XのXの部分はバージョンによって変わります)

「Tcw40X」というフォルダをダブルクリックしてください。フォルダの中身が表示されます。

図 4-3



「SETUP.EXE」というファイルをダブルクリックしてください。

「SETUP.EXE」は単に SETUP と表示されている場合もあります。

下記の画面が表示されます。

図 4-4



「次へ」をクリックしてください。下記の画面が表示されます。

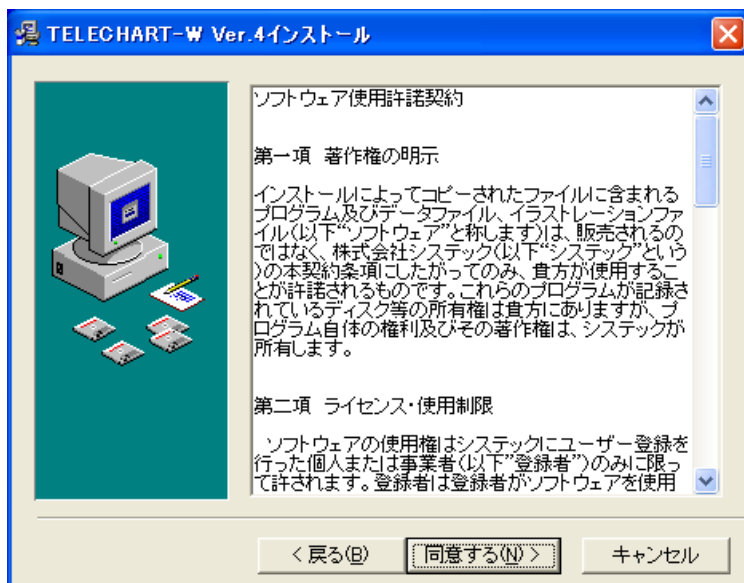
図 4-5



「次へ」をクリックしてください。

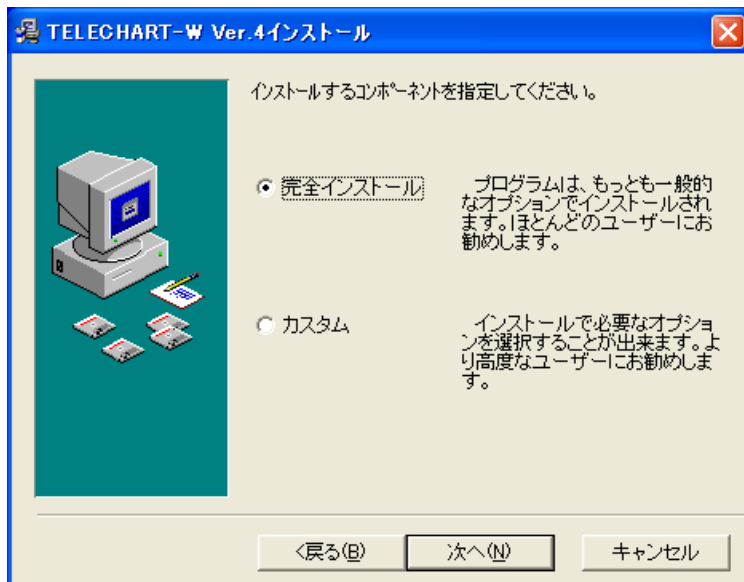
下記の画面が表示されます。

図 4-6



「ソフトウェア使用許諾契約」をお読みいただいてご同意していただける場合は「同意する」をクリックしてください。下記の画面が表示されます。

図 4-7



通常は「完全インストール」を選択後「次へ」をクリックしてください。

下記の画面が表示されます。

図 4-8



「インストール先ディレクトリ」は通常は変更しないで「次へ」をクリックしてください。
下記の画面が表示されます。

図 4-9



「プログラムマネージャグループ」も通常は変更しないで「次へ」をクリックしてください。
インストールが開始されます。

終了すると下記の画面が表示されます。

「完了」をクリックしてください。

図 4-10



「Tcw40X」フォルダが残っています。右上の [×] をクリックして閉じてください。

以上でインストールは終了です。

5 . 起動と終了

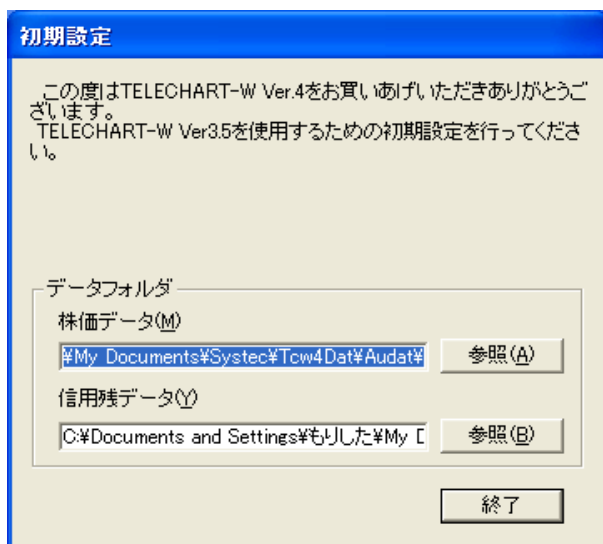
5 . 1 起動

次の手順で起動してください。

「スタート」をクリックし、マウスを「すべてのプログラム」(または単に「プログラム」)に合わせると、各種のプログラムが表示されます。「TELECHART-W4」にマウスを合わせて「TELECHART-W Ver.4」をクリックしてください。

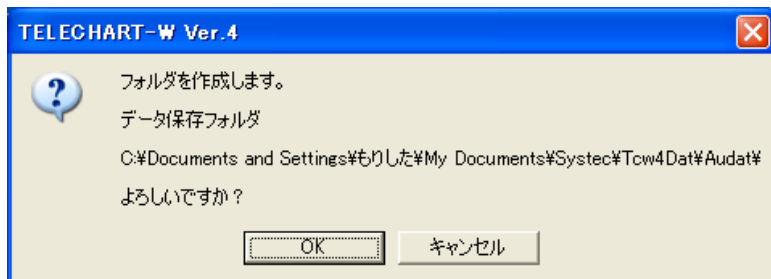
下記の初期設定画面が表示されます。(この画面は初めて起動した場合のみ表示されます。2回目以降の起動時には表示されません)

図 5-1



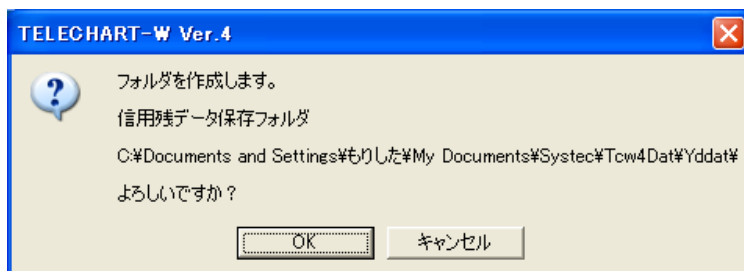
「株価データ」と「信用残データ」の各フォルダが表示されています。通常は変更しないで「終了」をクリックしてください。下記の画面が表示されます。

図 5-2



「フォルダを作成します。データ保存フォルダ・・・」が表示されます。「OK」をクリックしてください。下記の画面が表示されます。

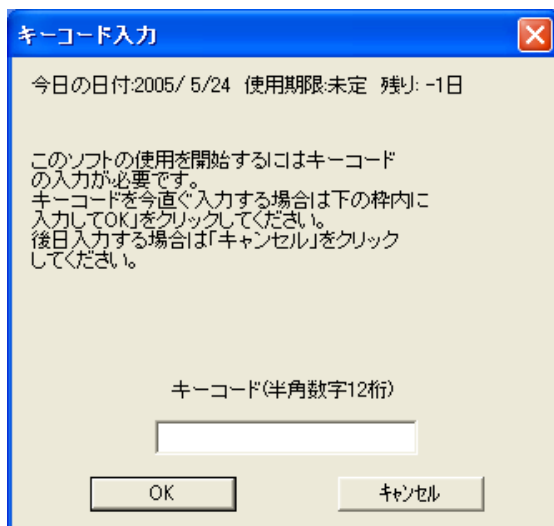
図 5-3



再度「フォルダを作成します。信用残データ保存フォルダ・・・」が表示されます。「OK」をクリックしてください。

下記の画面が表示されます。(この画面は初めて起動した場合のみ表示されます。2回目以降の起動時には表示されません)

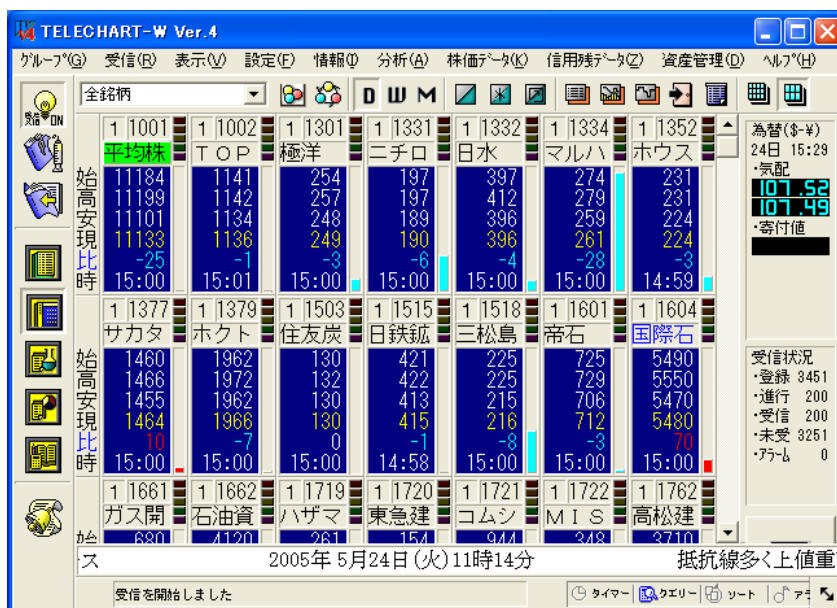
図 5-4



お知らせしているキーコード(半角数字 12桁)を入力して「OK」をクリックしてください。キーコードは TELECHART-W Ver.4 用と日々データメーカー&銘柄別データメーカー用の 2種類があります。必ず TELECHART-W Ver.4 用を入力してください。

「ザラバデータファイル作成中です」が表示され、しばらく待つと TELECHART-W の株価ボードが表示されます。(「ザラバデータファイル作成中です」は初めて起動した場合のみ表示されます。2回目以降の起動時には表示されせん。)以上で TELECHART-W Ver.4 が起動しました。

図 5-5



ソフトが起動されると自動的に株価の受信(読み取り)が始まって株価が表示されます。データの読み取りと同時にリアルタイムデータとして保存されザラバチャートとして表示可能になります。全銘柄のデータの読み取りは30秒~2分で完了します。読み取り速度は銘柄数、通信速度、パソコンの処理速度で変動します。読み取り速度が1分未満の場合、1分毎に更新されるデータをすべて読み取ります。読み取り速度が1分を越える場合は、1分毎に更新されるデータをすべて読み取ることができません。データの間隔がある時は1分、ある時は2分というようにデータの欠落が発生します。

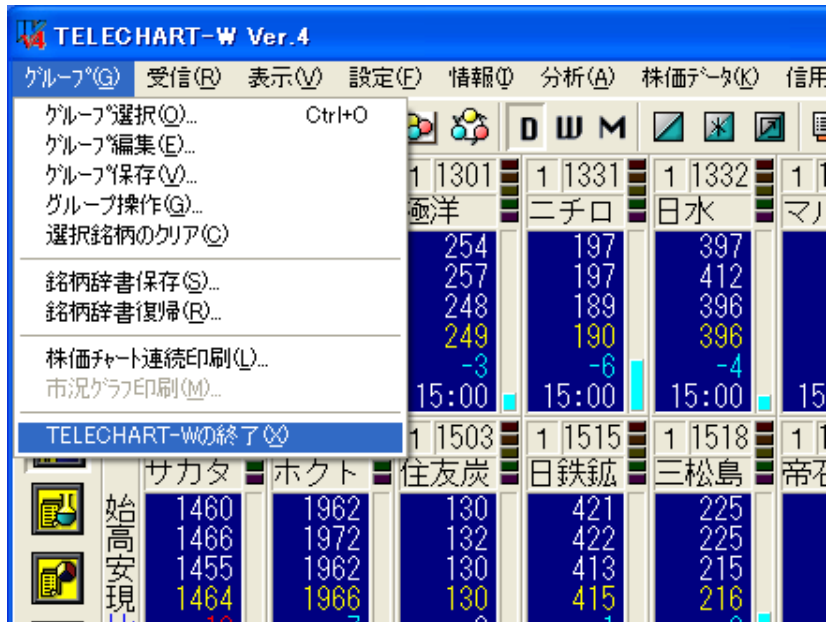
画面右側の「受信状況」に表示される項目の意味は下記の通りです。

- ・登録・・・登録されている銘柄の総数
- ・進行・・・受信の進行状態(銘柄数)
- ・受信・・・受信が完了した銘柄数
- ・未受・・・受信が完了していない銘柄数
- ・アラーム・・・アラームの設定がされている銘柄数

5.2 終了

TELECHART-W Ver.4 を終了する場合は「グループ」メニューの「TELECHART-W の終了」をクリックしてください。右上の「×」ボタンをクリックしても終了することができます。

図 6-1



6 . 付属ソフトのセットアップ

テレチャート・W Ver.4 には下記の2つのソフトウェアを付属しています。

- ・「日々データメーカー」

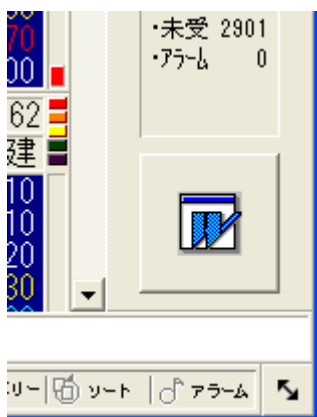
テレチャート・W用の過去の日々データと週残データが作成できます。
過去の日々データを作成して取込み漏れのデータを補充するのに使います。
週残データの取得、作成に使います。

- ・「銘柄別データメーカー」

テレチャート・Wが扱う全期間の銘柄別データと信用残データが新規に作成できます。
全銘柄をまとめて作成する他にコード番号で範囲を指定して作成することもできます。

これら2つのソフトウェアは TELECHART-W Ver.4 とは別にダウンロードする必要があります。ダウンロード用ページを開くにはテレチャート・Wの画面の右端中央にある青色の「W」のボタンをクリックしてください。

図 6-2



ダウンロード&サポートページが開きますのでユーザー名とパスワードを入力してダウンロードページへ進んで「日々データメーカー」と「銘柄別データメーカー」のダウンロードとセットアップを実施願います。詳しくは「日々データメーカー」と「銘柄別データメーカー」のそれぞれのマニュアルをご参照願います。

7 . 過去のデータの作成(銘柄別データメーカー利用の場合)

TELECHART-W Ver.4 は株価データを旧バージョンとは異なるフォルダに作成します。

項	データ種類	旧バージョンフォルダ (文字放送版)	新バージョンフォルダ (インターネット版)
1	株価データ	Documents And Settings¥ ユーザー名¥My Documents¥ Systec¥TcwDat¥Audat	Documents And Settings¥ ユーザー名¥My Documents¥ Systec¥Tcw4Dat¥Audat
2	信用残データ	Documents And Settings¥ ユーザー名¥My Documents¥ Systec¥TcwDat¥Yddat	Documents And Settings¥ ユーザー名¥My Documents¥ Systec¥Tcw4Dat¥Yddat

旧バージョンの TcwDat というフォルダが新バージョンでは Tcw4Dat に変わっています。

ただし上記フォルダはOSが Windows2000 または WindowsXP の場合です。

Windows98 または WindowsMe の場合は[Documents And Settings¥ユーザー名¥]は付きません。
なおユーザー様によっては[TcwDat]より上(TcwDat を含む)のフォルダが一切無いこともあります。(最初に TELECHART-W をインストールした時期によります。)

過去のデータを作成するには TELECHART-W Ver.4 に付属のソフト、「銘柄別データメーカー」を利用します。

このソフトはインターネットを情報源として TELECHART-W 用の銘柄別データおよび信用残データを作成できます。

銘柄別データメーカーのセットアップが完了していれば銘柄別データメーカーはテレチャート・W のメニューから起動できます。

銘柄別データメーカーのセットアップが完了していない場合は起動できません。21 ページの「6 . 付属ソフトのセットアップ」をご参照の上、「銘柄別データメーカー」をセットアップしてください。

テレチャート・W の「受信」メニューの「銘柄別データメーカー起動」をクリックしてください。

図 7-1



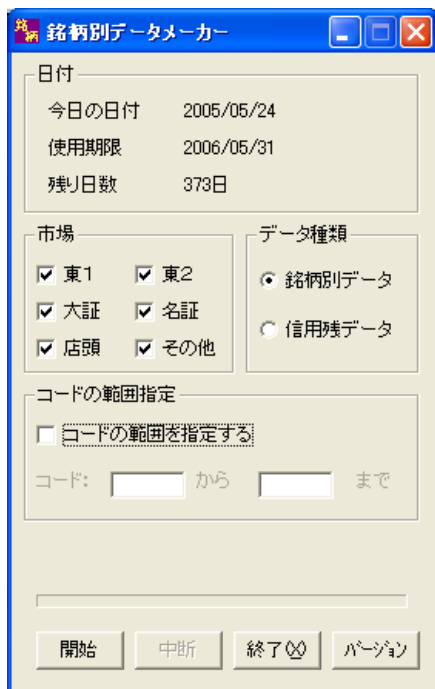
データ作成する市場を選択してください。通常は全市場を選択してください。

「データ種類」として「銘柄別データ」を選択してください。

「コードの範囲を指定する」のチェックは外してください。

「開始」をクリックしてください。

図 7-2



データが完成するまで時間がかかります。ネットの混み具合やパソコンの性能によりますが

全銘柄のデータを作成する場合、10時間～20時間かかります。

通常のダウンロードは必要なデータだけをまとめて取得するので短時間でダウンロードできますが銘柄別データメーカーは多数の異なるWebページにアクセスするため長い時間を要します。

[ご注意]

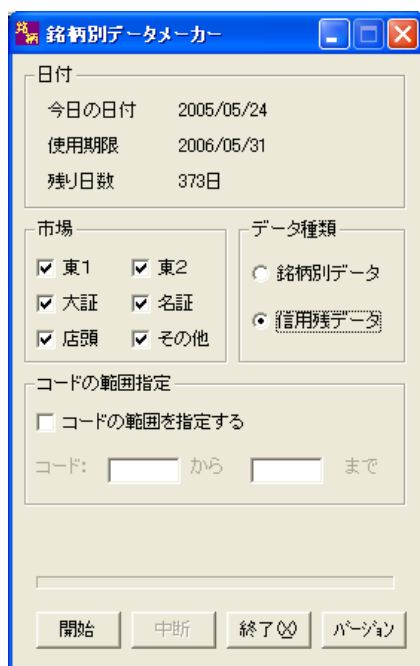
平均株価とTOPIXの出来高は東証1部の全銘柄の出来高を合計した数値を書き込みます。

東証1部のデータ作成の途中で中断すると出来高の合計値の計算ができないためゼロになりますのでご注意願います。もしゼロになりましたら東証1部全銘柄のデータ作成を再度実行してください。

銘柄別データの作成が完了しましたら続いて信用残データも作成してください。

「データ種類」として「信用残データ」を選択後「開始」をクリックしてください。

図 7-3



信用残データの作成は3時間～6時間かかります。

銘柄別データおよび信用残データの作成に関する詳細は「銘柄別データメーカーユーザーズマニュアル」ご参照願います。

8 . 過去のデータの作成(旧 TELECHART-W のデータ利用の場合)

過去のデータとして旧バージョンのテレチャートで蓄積したデータを利用することもできます。

旧バージョンのテレチャートのデータを利用する方法は下記の2つの方法があります。

テレチャートのデータをメニューを利用してコピーする方法

旧テレチャートのデータを直接コピーする方法

2つの方法共に実施するにはパソコンの操作(エクスプローラを使ったファイル操作)についてある程度詳しい知識が必要です。パソコン初心者のユーザー様にはどちらも推奨しません。過去のデータを作成するのは前述の「銘柄別データメーカー」を利用する方法を推奨します。

旧テレチャートのデータをメニューを利用してコピーする方法

まずコピー用のフォルダ2つをCドライブのルート上に作成してください。名前は何でも構いません。[kabudata]と[sinyodata]とでも付けてください。

旧テレチャートの「株価データ」の「銘柄別データ保存」をクリックし「全銘柄」を選択した後、保存先フォルダとして先程作成した[kabudata]を指定してください。

保存が終了したら今度は新テレチャートの「株価データ」の「銘柄別データ復帰」をクリックし、復帰元フォルダとして先程作成した[kabudata]を指定してください。
銘柄辞書は上書きしないでください。

続いて信用残データをコピーします。

旧テレチャートの「信用残データ」の「信用残データ保存」をクリックし「全銘柄」を選択した後、保存先フォルダとして先程作成した[sinyodata]を指定してください。

保存が終了したら今度は新テレチャートの「信用残データ」の「信用残データ復帰」をクリックし、復帰元フォルダとして先程作成した[sinyodata]を指定してください。
以上で株価データと信用残データのコピーが完了します。

旧テレチャートのデータを直接コピーする方法

旧テレチャートのデータを直接コピーする場合はエクスプローラを利用して、下記に示しま

す旧フォルダ内の各ファイルを新フォルダ内へコピーしてください。

項	データの種類	旧フォルダ	ファイル名	新フォルダ
1	株価データ (銘柄別データ)	Documents And Settings¥ ユーザー名¥ My Documents¥ Systemc¥ TcwDat¥Audat の中の Dd10 ~ Dd95 注 1	Dd01001 等	Documents And Settings¥ ユーザー名¥ My Documents¥ Systemc¥ Tcw4Dat¥Audat の中の Dd10 ~ Dd95 注 1
2	信用残データ	Documents And Settings¥ ユーザー名¥ My Documents¥ Systemc¥ TcwDat¥Yddat の中の Yd10 ~ Yd95 注 1	Yd01301 等	Documents And Settings¥ ユーザー名¥ My Documents¥ Systemc¥ Tcw4Dat¥Yddat の中の Yd10 ~ Yd95 注 1
3	ユーザー様 作成の銘柄 グループフ ァイル	Documents And Settings¥ ユーザー名¥ My Documents¥ Systemc¥ TcwDat¥Audat¥ Sysdt 注 1	拡張子が mgr のフ ァイル	Documents And Settings¥ ユーザー名¥ My Documents¥ Systemc¥ Tcw4Dat¥Audat¥ Sysdt 注 1
4	ユーザー様 作成の分析 クエリフ ァイル	Documents And Settings¥ ユーザー名¥ My Documents¥ Systemc¥ TcwDat¥Audat¥ Sysdt 注 1	拡張子が sqi のフ ァイル	Documents And Settings¥ ユーザー名¥ My Documents¥ Systemc¥ Tcw4Dat¥Audat¥ Sysdt 注 1
5	ユーザー様 作成の株式 資産管理デ ータフ ァイル	Program Files¥ Systemc¥Tcw3¥ Dealing 注 2	左記フ ォルダ内 の全フ ォル ダ、全フ ァ イル	Program Files¥ Systemc¥Tcw4¥ Dealing 注 2

注 1

上記フォルダはOSがWindows2000またはWindowsXPの場合です。
Windows98またはWindowsMeの場合は[Documents And Settings¥ユーザー名¥]は付きません。
なおユーザー様によっては[TcwDat]より上(TcwDatを含む)のフォルダが一切無いこともあります。(最初にTELECHART-Wをインストールした時期によります。)

注 2

ユーザー様によっては[Program Files¥Systec¥]が付かない場合もあります。

9 . Yahoo! ファイナンス VIP 倶楽部について(非サポート)

Yahoo!ファイナンス VIP 倶楽部のサービスへの対応は 2007 年 1 月 31 日をもって終了させていただきました。2007 年 2 月 1 日以降はサポート範囲外とさせていただきます。

Yahoo!ファイナンス VIP 倶楽部のサービスとは株価データの遅れが 1 分に短縮されるサービスです。

No	ユーザー区分	費用	遅延時間	更新間隔
1	一般ユーザー	無料	約 20 分	1 分
2	V I P 倶楽部会員	有料(2079 円 / 月)	約 1 分	1 分

10. 株価ボードの見方

ソフトが起動されると自動的に株価の受信(読み取り)が始まります。

全銘柄のデータの読み取りは30秒~2分で完了します。読み取り速度は銘柄数、通信速度、パソコンの処理速度で変動します。読み取り速度が1分未満の場合、1分毎に更新されるデータをすべて読み取ります。読み取り速度が1分を越える場合は、1分毎に更新されるデータをすべて読み取ることができません。データの間隔がある時は1分、ある時は2分というようにデータの欠落が発生します。

下記の時間帯は繰り返し読み取って株価データを常に更新しています。

8時30分 ~ 17時00分

上記以外の時間帯は株価データが変動しないものとして全銘柄のデータを一度読み取ったら自動的に受信を停止します。強制的に受信させたい場合は「受信ON」をクリックするか「受信」メニューの「受信ON/OFF」をクリックしてください。

株価ボードの各銘柄の窓の最下行は出来高と時刻の切り替え表示になっています。表示が時刻に設定してある場合、表示される内容は下記の通りです。

[数字と数字の間に[:]が表示されている場合]

現在値欄に表示された株価で商いが成立した時の時刻を示しています。

図 10-1

	1 1001	1 1002	1 1301	1 1331
始高	11184	1141	254	197
安	11199	1142	257	197
現	11101	1134	248	189
比時	11133 -25	1136 -1	249 -3	190 -6
時	15:00	15:01	15:00	15:00

データが提供された時刻ではありません。従ってしばらくの間商いがないと、ここで表示される時刻は古い時刻になります。この点は文字放送と異なっていますのでご注意ください。

[数字と数字の間に[/]が表示されている場合]

日付を示しています。

図 10-2

	1 1980	1 1980
	ダイダ	日比
始	--	10
高	660	10
安	--	10
現	682	10
比	ウリケルイ	
時	5/20	14

今日の商いがない場合に日付表示になります。過去の取引で商いが成立した日の内の最も新しい日付が表示されます。

- ・ 現在値の数値 表示された日付の終値です。(当日ではありません)
- ・ 高値が表示されている場合 . . . 当日の売り気配値です。
- ・ 安値が表示されている場合 . . . 当日の買い気配値です。

平日の市場開催前の9時～9時20分の時間帯に限っては日付表示となります。

現在値にその日付の終値だけが表示されます。

図 10-3

	1 1001	1 1002	1 1301	1 1331	1 1332
	平均株	TOP	極洋	二子口	日水
始	0	0	--	--	--
高	0	0	--	--	--
安	0	0	--	--	--
現	11133	1136	249	190	396
比	0	0	--	--	--
時	5/24	5/24	5/24	5/24	5/24

日付は前日の日付になります。前日が休日の場合は最後に取引が行われた日になります。(例えば先週の金曜日の日付になります)

11. 株価データ取り込み

株価データの取り込み方法は文字放送の場合と同じです。

下記のいずれかの方法で取り込んでください。

「データ取込」をクリック

ウインドウの左側に縦方向に並んでいるボタンの内、上から3個目のボタンです。

図 11-1



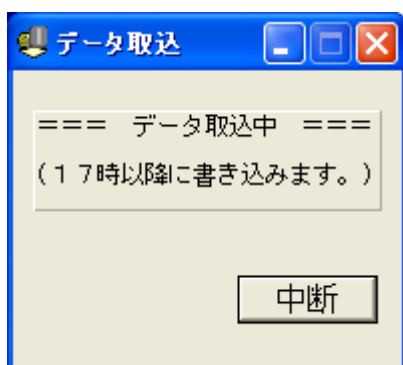
「受信」メニューの「株価データ」の「銘柄別データ追加」をクリック

図 11-2



取り込みを開始すると「データ取込」ダイアログが表示されます。

図 11-3



全銘柄のデータの受信が済んでかつ、午後 5 時を過ぎていたらダイアログが消えてデータの保存を開始します。午後 5 時より前の場合は時間待ちになります。

1 日の間に取り込みを何度実施しても構いません。最後に取り込みを実施したデータが残ります。17 時以前はデータが変動している可能性があります。

その日の最終的なデータとして取込む場合は 17 時以降に最後の取り込みを実施することをお奨めします。

なお、内部タイマーまたは取込み自動スタートによる取込みも以前と同じです。

[銘柄メンテナンスについて]

取込みエラーの表示は下記の通りです。

- ・ 上場廃止の銘柄・・・取込みエラーとして表示されます。
- ・ 新規上場の銘柄・・・取込みエラーとして表示されません。
- ・ 市場変更の銘柄・・・ヘラクレスの銘柄が大証 1 部または 2 部に移動した場合に取込みエラーが表示されます。
マザーズ、東証 1 部、東証 2 部間の移動およびセントレックス、名証 1 部、名証 2 部間の移動は取込みエラーが表示されません。
移動後の市場の取込みエラーは表示されません。
- ・ コード変更の銘柄・・・旧コードの取込みエラーが表示されます。
新コードの取込みエラーは表示されません。

上記の通り、新規に上場した銘柄のエラー表示はされません。新規銘柄はユーザー様ご自身で銘柄名も含めて追加登録してください。銘柄名は全角文字で 6 文字以内としてください。銘柄メンテナンスは「受信」メニューの「銘柄メンテナンス」で実施してください。

12. 補充用日々データの作成と読込(日々データメーカー利用)

TELECHART-W Ver.4には「日々データメーカー」というソフトを付属しています。

このソフトはインターネットを情報源として TELECHART-W 用の過去の日々データを作成できます。データが抜けてしまった場合に後で補充する場合に使います。

日々データメーカーのセットアップが完了していれば日々データメーカーはテレチャート・Wのメニューから起動できます。

日々データメーカーのセットアップが完了していない場合は起動できません。21ページの「6. 付属ソフトのセットアップ」をご参照の上、日々データメーカーをセットアップしてください。

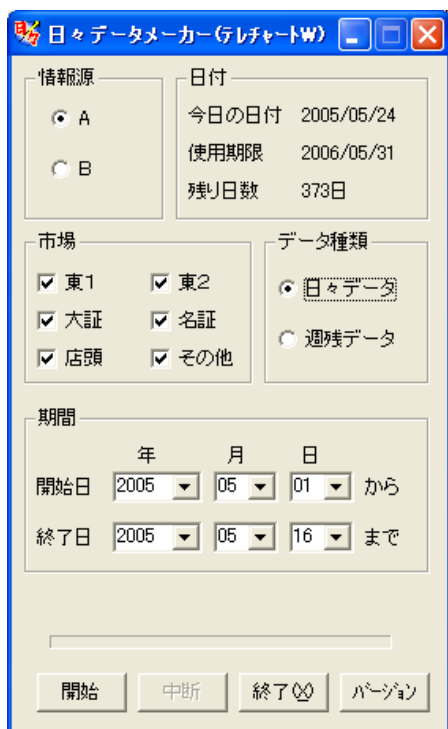
日々データメーカーを使用する場合はテレチャート・Wの「受信」メニューの「日々データメーカー起動」をクリックしてください。

図 12-1



日々データメーカーが起動します。

図 12-2



情報源、市場、データ種類、期間の各項目を設定して「開始」をクリックしてください。約20分で日々データが作成されます。

作成された日々データをテレチャートのデータとして反映させるにはテレチャートで下記のメニューを実施してください。

「株価データ」の「日々データ 銘柄別データ」

補充用日々データの作成と読込に関して詳細は日々データメーカーユーザーズマニュアルをご参照願います。

13. 信用残データの取り込み(日々データメーカー利用)

毎週の信用残データの取込みは「日々データメーカー」というソフトを使います。

日々データメーカーのセットアップが完了していれば日々データメーカーはテレチャート・Wのメニューから起動できます。

日々データメーカーのセットアップが完了していない場合は起動できません。21ページの「6. 付属ソフトのセットアップ」をご参照の上、日々データメーカーをセットアップしてください。

日々データメーカーを使用する場合はテレチャート・Wの「受信」メニューの「日々データメーカー起動」をクリックしてください。

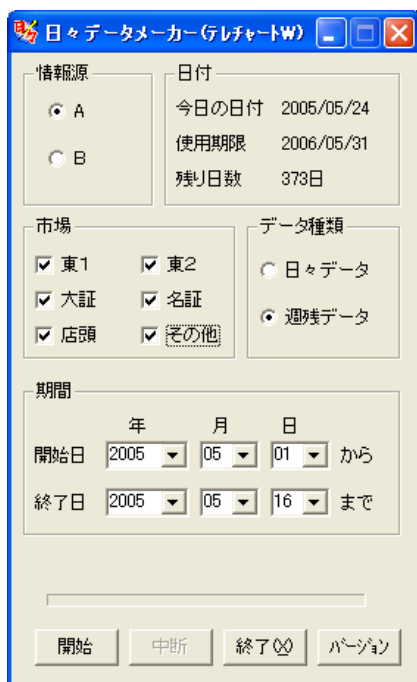
図 13-1



「日々データメーカー」が起動します。下記を設定して「開始」をクリックしてください。

- ・ 「情報源」は「A」
- ・ 「市場」は全市場
- ・ 「データ種類」は「週残データ」
- ・ 「開始日」は目的の週の金曜日の日付
- ・ 「終了日」は目的の週の金曜日の日付

図 13-2



作成された週残データをテレチャートのデータとして反映させるにはテレチャートで下記のメニューを実施してください。

「信用残データ」の「週残データ 信用残データ」

週残データの取込みと読み込みに関して詳細は日々データメーカーユーザーズマニュアルをご参照願います。

14 . 使用期限について

テレチャート・W Ver . 4は1年間の使用期限付きのソフトです。

使用期限を確認するには「ヘルプ」メニューの「バージョン情報」をクリックしてください。

図 14-1



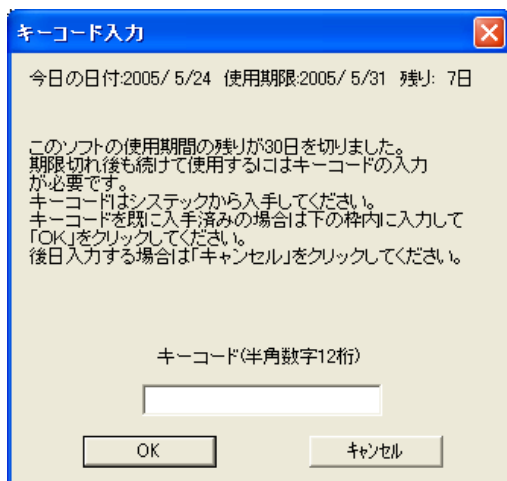
下記のように表示されます。

図 14-3



残りの使用期間が 30 日未満になりますとソフトを起動した時に下記の画面が表示されます。

図 14-2



続けて次の1年間を使用するにはキーコードをご購入願います。

・1年間延長(継続)キーコード・・・12,600円

(この料金は2006年12月25日現在の金額です。将来変更される可能性があります。)

メールでその旨おしらせください。(メールアドレス support@systec-inc.co.jp)直ぐにキーコードをお知らせします。

キーコードを入力して「OK」をクリックしてください。入力していただいたキーコードが正しかったら新たに1年間利用可能となります。

なお、使用期限が一旦切れてしまうと継続料金ではなく下記の初年度料金に変わります。

・初年度(1年間)キーコード・・・・・・・・・・21,000円

(この料金は2006年12月25日現在の金額です。将来変更される可能性があります。)

使用期限が一旦切れてからもキーコードの入力は可能です。その場合、例えば使用期限が切れて1ヶ月過ぎたとします。その時点でキーコードを購入いただいて入力していただくと翌年の、同じ月(キーコードご購入月)の月末までお使いいただけます。

15. ソフトの削除

ご注意

画面は WindowsXP の場合の画面を示しています。WindowsXP 以外の OS をお使いの場合は画面が若干異なる場合があります。ご了承ください。

テレチャート・W Ver.4 を削除する場合は下記の手順で操作してください。

「コントロールパネルを開きます。」下記の操作を実施してください。

・ WindowsXP の場合

「スタート」の「コントロールパネル」をクリックしてください。

・ Windows 2000/98SE/Me の場合

「スタート」の「設定」の「コントロールパネル」をクリックしてください。下記の画面が表示されます。

図 15-1



下記の操作を実施してください。

・ WindowsXP の場合

「プログラムの追加と削除」をダブルクリックしてください。

・ Windows 2000/98SE/Me の場合

「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックしてください。
下記の画面が表示されます。

図 15-2



下記の操作を実施してください。

・ Windows XP の場合

「TELECHART-W Ver.4」をクリックして「変更と削除」をクリックしてください。

・ Windows 2000/98SE/Me の場合

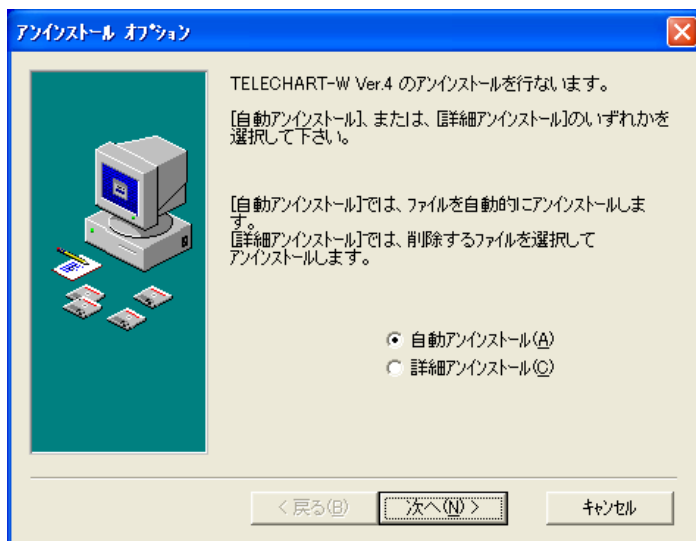
「TELECHART-W Ver.4」をクリックして「追加と削除」をクリックしてください。

図 15-3



下記の画面が表示されます。

図 15-4



「次へ」をクリックしてください。下記の画面が表示されます。

図 15-5



「アンインストール」をクリックしてください。
下記の操作を実施してください。

- ・ Windows X P の場合
「プログラムの追加と削除」と「コントロールパネル」を終了してください。
- ・ Windows 2000/98SE/Me の場合
「アプリケーションの追加と削除」と「コントロールパネル」を終了してください。

以上で TELECHART-W Ver.4 が削除されました。

16 . 最新版のダウンロード

ソフトは随時更新されます。

お使いのソフトのバージョンを確認するには「ヘルプ」メニューの「バージョン情報」をクリックしてください。

図 16-1



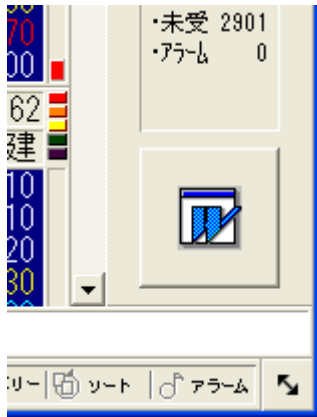
下記の画面が表示されます。Version 番号をご確認願います。

図 16-1-2



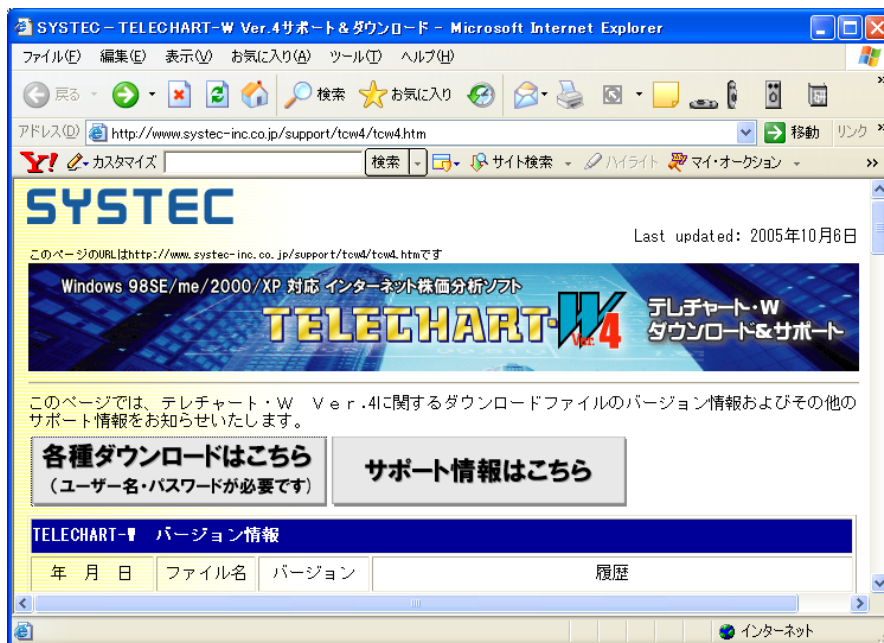
最新のバージョン番号をチェックするには画面右側にある [W] のボタンをクリックしてください。

図 16-2



下記の画面が表示されます。

図 16-3



時々、最新バージョンの番号をチェックして、もし現在使用しているバージョンより新しいバージョンが存在したらダウンロードして更新してください。
 なおデスクトップに下記のファイルが残っていたら先に削除してからダウンロードしてください。

- ・ Tcw4xx.exe という名前のファイル
- ・ Tcw4xx という名前のフォルダ
 (4xx はバージョン番号によって変わります)

保証と責任の範囲

データの正確性に関する保証

弊社は、収集されたデータの正確性について何ら保証いたしません。
データの誤りが原因で損が生じたとしても弊社は一切責任を負いません。

利用に関する保証

データを提供する情報源がデータの提供を停止、終了する場合があります。
その場合弊社は他の情報源からデータを収集できるようソフトの修復に努めますがソフトが完成するまでお待ちいただく場合があります。
他の情報源が存在しない場合など、本ソフトを利用できなくなる可能性は少ないとは思いますがゼロではありません。

利用料の返金について

データが収集できない期間が発生した場合、またはソフトが利用できなくなった場合でも、弊社はお支払いいただいた年間の利用料の一部または全部について返金はいたしませんのでご了承ください。

TELECHART-W Ver.4 ユーザーズマニュアル
平成 17 年 5 月 25 日 初版発行(Ver.4.0.0)
平成 17 年 6 月 16 日 第 2 版発行(Ver.4.0.1)
平成 17 年 6 月 17 日 第 3 版発行(Ver.4.0.2)
平成 17 年 10 月 14 日 第 4 版発行(Ver.4.0.X)
平成 18 年 12 月 25 日 第 5 版発行(Ver.4.0.X)
発行 株式会社システック
愛知県東海市名和町後西 2 0 - 2

SYSTEMEC

株式会社システック ユーザーサポート係
〒476-0002 愛知県東海市名和町後西 20-2

FAX 052-601-5789

Eメール support@systemec-inc.co.jp

ホームページ <http://www.systemec-inc.co.jp/>

061225